

日本胸部外科女性医師の会 (WTS in Japan)



日本胸部外科女性医師の会 (WTS in Japan) は今年で7回目の集会を無事終えることができました。会の発端は、2002年に自身が初めて

59回日本胸部外科学会定期学術集会(2006年、東京)に併設して第1回目の日本胸部外科女性医師の会(WTS in Japan)を開催して以来現

Society of Thoracic Surgeonsの定期学術集会(Fort Lauderdale, Florida)へ参加した際に、Women in Thoracic Surgery (WTS)という集会の存在を知ったことにさかのぼります。その後多くの方のご協力を頂きながら第

在に至っております。今年は藤田博正先生(第65回日本胸部外科学会定期学術集会大会長の多大なお計らいの下で、向井千秋先生を講師としてお迎えし大変な賑わいを見せることができました。講演の概要は、女性が働くこと、御兄弟の御病気を通じて医師になることを決意されたこと、大学生時代および医師としてのキャリアを形成する際に、性別・職種・人種を問わず協力し仕事を達成することの重要性などについて深くお考えになられたことなどの経験談も踏まえたお話を伺うことができました。また昼食を摂りながら講師を含む参加者同士が非常に近距離での議論を重ねることもできました。参加者は向井千秋先生、藤田博正先生、女性胸部外科医16名の他に男性胸部外科医師4名を含む総勢30名余りと比較的大きな会になりました。WTS in

Japanでの、場合によっては一期一会といっても過言ではないようなこの会での出会いを通じて、お互いの経験を共有し一人でも多くの方が楽しく胸部外科医を続けていくための肥やしにしていただけよう、今後もWTS in Japanの開催継続についてお手伝いできればと考えております。

齋藤 綾(前列左から4番目)
(東京大学医学部附属病院心臓外科)

1994年 医学部卒業、同大学病院にて臨床研修
1996年 同大学第一外科入局
2001年 東京大学医学部附属病院心臓外科入局。
2007年 東京大学大学院医学系研究科卒業、心臓外科・助教を経て2年間カナダへ心臓移植フェローとして留学。

現在特任講師として東京大学医学部附属病院在籍。

趣味：映画(ジャンルは問わず)、旅、車。
好きな言葉：情熱